

発行日 2010年9月1日

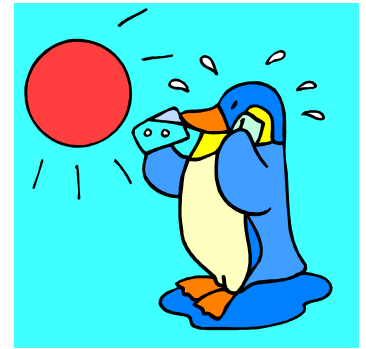
まだまだ暑いなあ～

今年の夏は本当に暑いですね。9月にはいってもまだまだ夏が続くそうです。クーラーなしに過ごせない毎日です。教室はいつも冷え冷えです。みなさんの家庭の電気代もおそろしいことになっているのではないですか？

今年の夏は猛暑過ぎて夏休みを取られる生徒さまが多かったなあ～。9月からのレッスン再開の予約がはいてホッとしています。

ずっと夏休みだとしても寂しいですものね。

まだしばらく暑い日々が続きますが、楽しくレッスンしていきましょうね。



(青山)

9月のイベント

8月のイベントはお休みをしましたが、この猛暑ですから休んで大正解でした。だって、日ざかりの一番暑い時間帯に出てくるのは誰でもイヤですものね。9月からはまた、毎月行っていく予定です。

今回は、ふっくらがま口ポーチを作ります。

いざという時の救急箱、飴ちゃん入れ、化粧ポーチ、USBメモリー入れなどに使えます。

がま口の本体は縫い上がっています。口金を付けるだけで写真のようなポーチが出来上がります。

仕上がり寸法 約10.5×11cm (マチ約5cm)

AからIの9種類から柄をお選びください。



日時 9月26日(日) 13時30分から15時まで

料金 1,500円(材料費込み)

持ち物 ラジオペンチ(あればお持ちください。口金を締め付けるのに使います。)

材料の手配の都合がありますので参加ご希望の方は9月15日(水)までにお申込みください。

スズメバチ



今年の夏は猛暑続きなので、スズメバチもイライラしていて、とても攻撃的になっているそうです。

例年 9 月頃から、スズメバチに刺される被害が多くなるらしいです。スズメバチに攻撃されそうになった時は、慌てず騒がず体を出来るだけ低くして（しゃがんで）頭をかばいながらゆっくり後ずさりでの場を離れるのが良いそうです。

タオル等を振り回して追い払うのは、スズメバチを余計に刺激するのでやめましょう。

スズメバチは、黒いものに攻撃を仕掛けてくるそうなので、スズメバチに襲われたくないなら、黒い色やダークトーンの色は着ない方が無難です。白や白っぽい色の服を着ていても刺されるときは刺されますけどね（苦笑）

スズメバチが 1 匹だからといって、踏み殺したりしてはいけません。スズメバチには仲間を呼ぶフェロモンがあり、それに集まってくるので大群に襲われかねません。

万一刺されたら、毒を口で吸い出してはいけません。口内の微細な傷からスズメバチの毒が入る危険性があります。傷口は水で洗い流して早急に医師の手当を受けましょう。

また、過去に刺された経験のある人は、アナフィラキシーショック（抗原抗体反応）で、最悪の場合死に至ることもありますので、十分注意しましょう。

（鎌田）

しおん文庫から今月のお薦め

みみぶくろひちようあかおにぶぎようねぎしひぜん
『耳袋秘帖赤鬼奉行根岸肥前』（風野 真知雄著）

62 歳で町奉行に大抜擢された根岸肥前守鎮衛。肩には、無頼時代に彫った赤鬼の刺青が光る。綽名は「大耳」。さまざまな人脈からもたらされる裏情報最大の武器なのだ。その大耳に入った奇談を集めた『耳袋』の著書でも知られる根岸だが、極秘版の『耳袋秘帖』をひそかに記していた。江戸に起きる怪事件の謎を次々解き明かす痛快お裁き帖。



と、いうことで今月は、時代小説です。主人公は根岸肥前守鎮衛。実在した人物です。

根岸肥前守は、62 歳という高齢でありながら激務である町奉行に抜擢され、18 年間もの長期間在職したそうです。また、佐渡奉行の頃から不思議な話や怪異の話などを集めて『耳袋』という随筆集に残しています。

この耳袋秘帖はシリーズ化されていまして、第 1 巻のお話は、根岸肥前守が町奉行職に推挙され、南町奉行所に赴任してくるところから始まります。下級幕吏出身のくだけた人物であるということで、お話の中の根岸肥前守も非常にくだけた、ひょうひょうとした感じに描写されています。この文庫は行間が広く文字も大きめなので、本の厚さの割にはさらっと読み進めていける本だと思います。教室には第 6 巻まで揃っています。

（鎌田）